

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 60135167 A

(43) Date of publication of application: 18.07.1985

(51) Int. Cl. B24B 9/14
G02B 1/10

(21) Application number: 58248796

(22) Date of filing: 24.12.1983

(71) Applicant: NISHIKATA MASATO
KINOSHITA HIDEKI(72) Inventor: NISHIKATA MASATO
KINOSHITA HIDEKI

(54) SURFACE TREATMENT METHOD OF LENS

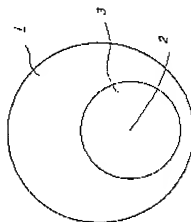
(57) Abstract:

PURPOSE: To allow a fitting sucker to a machine to be reliably fixed and protect the lens surface during machining by sticking a double coated adhesive tape on the surface of various unprocessed lens proper from the optical center.

CONSTITUTION: A tape 3 is stuck in the predetermined range of the surface of a lens proper 1 with its optical center set as a cardinal point, the tape 3 is coated with the adhesive agent on one face or both faces, and a transparent or opaque resin film, metal, cloth, etc. are used as the material. The stuck range is made larger than at least the area of the jig sucker adsorbing the lens proper 1. Accordingly, the surface of the lens proper 1 can be prevented from being damaged due to marks, rule lines, etc. marked at the optical center 2 of the lens proper 1 or around it, and also

the damage due to the sucker fitted to the optical center 2 while machining the outer diameter can be prevented. In addition, the lens proper 1 can be reliably held to a jig.

COPYRIGHT: (C)1985 JPO&Japio



⑪ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和60年(1985)7月18日

B 24 B 9/14
G 02 B 1/10

6902-3C
8106-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 レンズの表面処理方法

⑮ 特 願 昭58-248796

⑯ 出 願 昭58(1983)12月24日

⑰ 発 明 者 西 方 正 人 鯖江市三六町1-1-28
⑱ 発 明 者 木 下 秀 樹 鯖江市西大井町31-1-10
⑲ 出 願 人 西 方 正 人 鯖江市三六町1-1-28
⑳ 出 願 人 木 下 秀 樹 鯖江市西大井町31-1-10
㉑ 代 理 人 弁理士 西山 閑一

明 細 書

1. 発明の名称

レンズの表面処理方法

2. 特許請求の範囲

- (1) 米糠膜の各種レンズ本体の表面に光学中心よりテープを貼附せしめる手段としたことを特徴とするレンズの表面処理方法。
- (2) 前記テープは両面粘着剤が塗布されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のレンズの表面処理方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は米糠膜の各種レンズの表面を保護せしめる手段としたレンズの表面処理方法に関するものである。

一般に各種用途で使用される米糠膜のレンズは外装加工を施し、光学中心およびその周囲に所定のマークや記号が施され、又加工後のレンズの表面を保護し光学中心を基点として様々な光学的吸着が取付けられた器具にて吸着され、研磨具と共に加工機内の所定位置に配置さ

定されるものであるため、これらマーク等の同付、治具の吸着時によりレンズ表面を傷付ける恐れを有し、外装加工時におけるレンズの吸着位置がズレる虞があった。

本発明はかかる欠点を認め、米糠膜の各種レンズ本体の表面に光学中心よりテープを貼附せしめる手段として上記欠点を解消せんとしたものであり、以下本発明の一次発明を説明する。

1 はレンズ本体であり、該レンズ本体1は顕微鏡用、カメラ用、顕微鏡用その他の各種用途で使用されるものを対象とする。また、焦点レンズ、視鏡点レンズ等の種類を問わず、又その材質はガラス、アクリル等の樹脂、その他米糠の光学的レンズ全てを含む米糠膜レンズを対象としている。

そしてこのレンズ本体1の光学中心2を基点として該面所定範囲にテープ3を貼附せしめるのである。

貼附されるテープ3は片面若しくは両面粘着

面を覆布せしめたものであり、その材質は透明若しくは半透明の透明フィルム、金属、樹脂、紙質等のものを使用している。

又テープ3の貼着面は少なくともレンズ本体1を吸着せしめる治具の吸着の面積より大なる面積である。

但するに本発明は、従来の各レンズ本体1の裏面に光学中心2よりテープ3を貼着せしめるはばししたので、レンズ本体1の光学中心2点しくはその周囲に設けられるマーク、製造面等によるレンズ本体1表面の傷付きを防止出来、又レンズ本体1の外加工工程において加工本体1を固定調整せしめる際に光学中心2を基点としてレンズ本体1表面に取付けられる吸着器による傷付きも防止出来、よってレンズ本体1の加工時における各工程中で光学中心2の周囲表面を保護せしめることによりレンズ本体1を完全に保護せしめることが出来、又テープ3を周囲に貼着面が覆布されたものを使用すれば吸着と放着の力を強力ならしめて治具に對するレンズ

本体1の吸着を確実ならしめることが出来るがその運用の効率は多大なるものである。

4. 図面の図説を説明

図は本発明の一実施例を示すものでして、レンズ本体にテープを貼着した状態の正面図である。

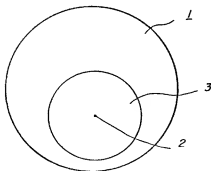
1 レンズ本体 2 光学中心 3 テープ

以 上

代理人 西 方 正 人
木 下 秀 雄

代理人 伊藤士 西 山 開 一

図



手続料 市 正 費

昭和59年4月25日

特許庁長官 若杉和夫殿

1. 事件の表示

昭和58年特許第248796号

2. 発明の名称

レンズの表面処理方法

3. 補正をする者

事件との関係 出願人

住所

氏名 西 方 正 人 (他1名)

4. 代理人

住所 名古屋市千種区西坂町2-46

メゾン西坂1階

氏名 (7328) 伊藤士 西 山 開 一

5. 補正命令の日付 自発

6. 補正により増加する発明の数

7. 補正の対象 明細書

8. 補正の内容 別紙の通り

手 続 補 正 書

昭和58年特許願第248796号

1. 上記出願に関し、明細書中第1頁第12行目を次の通り補正する。

「本発明は未整形の各種レンズの外形加工の際に加工機への装着用の吸盤を確実に吸着固定出来る様にすると共に、加工時におけるレンズ表面を保護せ」

2. 明細書中第3頁第9行目を次の通り補正する。

「める様にしたので、テープ3を基準として加工機への装着用の吸盤を定位置に確実に吸着せしめることが出来、又テープ3によりレンズ本体1の光学中心2」

以上

出願人 西 方 正 人

“ 木 下 秀 樹

代理人 弁理士 西 山 園 一

